



環境の大切さを子どもたちに伝えるため 全国の学校で環境出前授業を展開しています

富士通グループは、「地域貢献活動」「自然環境保全活動」「環境教育活動」を3つの柱とする環境社会貢献活動を通じて、地域社会に貢献しています。今回、地域の皆様や子どもたちに環境の大切さを知ってもらうための環境出前授業についてご紹介します。

環境の大切さを知り、行動するきっかけに

2006年度より富士通グループは全国の小中学校や高校へお伺いし、環境に関する出前授業を実施しています。この授業の目的は、生徒たちが企業での環境への取り組みを知ることにより、普段の生活の中で自分たちにできる環境負荷低減は何かを考え、行動していくきっかけをつくることです。2010年度は57カ所の学校や公民館等で出前授業を開催し、パソコンを分解しながら3R (Reduce、Reuse、Recycle) について学ぶ「パソコンの3R」や、カードゲームを使って地球環境問題を学ぶ「マイアース」等のプログラムを実施し、これまでに約3,500名の子どもたちに参加いただきました。

これらの授業で講師を務めるのは、富士通社内の講師養成講座を修了した富士通グループの社員で、2010年度には約40名を新たに育成し、合計85名が活躍しています。

電力の「見える化」で省エネを考える新授業

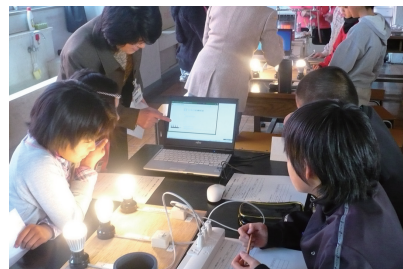
今年度より富士通の最新技術を活用した環境出前授業の新プログラムが加わりました。2011年4月に発売されたばかりの「小形電力センサー内蔵スマートコンセント※」を活用した小学6年生向けの授業で、前半は3種類の電球（白熱電球・蛍光灯・LED電球）を使って、

電気の変換には見えないムダが発生していることを知り、省エネのためにはムダ取りが重要であることを理解していきます。そして後半は、パソコン使用時の省エネ行動について考えていくというものです。また、本授業の内容は経済産業省の委託事業「社会人講師活用型教育支援プロジェクト」に参加し、「電気の利用」の単元の発展授業として小学校の学習指導要領に沿ったものでもあります。

今後も富士通グループは、家庭や学校で児童一人ひとりが実践できる環境行動を具体的に考え、環境教育活動に取り組んでまいります。



スマートコンセント



新プログラム省エネ授業の様子

※コンセントに接続した機器毎の消費電力を計測し、電気のムダやムラを「見える化」できる電源タップ。2011年4月、富士通コンポーネントより発売。



富士通グループは、先進的な環境への取り組みが評価され、環境大臣より「エコファースト企業」として認定されました。



未来が変わる。日本が変わる。

富士通グループはチャレンジ25キャンペーンに参加しています。

FUJITSU JOURNAL 富士通ジャーナル

発行 富士通株式会社
マーケティング本部 eマーケティング部
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 (汐留シティセンター)
印刷 富士通アプリコ株式会社

本誌ならびに本誌掲載の製品・サービスに関するお問い合わせ先

富士通コンタクトライン TEL 0120-933-200
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)
URL <http://jp.fujitsu.com/about/journal/contact/>

※本誌記事中のプログラム名、CPU名、システム名等は各メーカーの商標、または登録商標です。
※本誌に掲載されている内容については、取材時点によるものです。

©富士通株式会社 2011 本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。
Copyright ©2011 by FUJITSU LIMITED